

令和5年度「児童・生徒の学力向上を図るための調査」結果（4～6年）

江戸川区立第六葛西小学校

1. 各教科の授業の内容に対する理解の程度（割合％）

教科 回答	国語		社会		算数		理科	
	東京都	学校	東京都	学校	東京都	学校	東京都	学校
よく分かる	50.9	40.7	51.9	47.0	59.8	52.3	62.5	62.1
どちらかとい えば分かる	42.0	49.8	37.6	39.3	31.1	32.3	31.4	30.9
どちらかといえ ば分からない	5.8	8.1	8.6	10.9	7.2	10.9	5.0	6.9
ほとんど 分からない	1.3	1.4	1.9	2.8	2.0	4.6	1.1	1.1

昨年度の「授業が分かる」と肯定的な回答をした児童の割合では、国語は95.0%（都比+2.1%）、理科は95.7%（都比+2.0%）と2科目で都の平均を上回っていたが、今年度は4教科とも都の平均よりも低い結果となった。引き続き児童の学習状況を適切に把握し、児童の実態に合った指導の徹底を目指していく。また、朝学習、放課後補習教室、家庭学習等でタブレットを用いた学習の時間が増えてきているが、児童の意欲や学習状況を把握しながら、基礎・基本的な学力の定着を図っていく。

2. 学校以外での月曜日から金曜日までの学習時間（学習塾や習い事を含めない）（割合％）

	毎日2時間以上	1時間以上、2時間未満	30分以上、1時間未満	30分未満	全くしない
東京都	19.0	24.7	30.4	17.1	8.8
学校	14.0	24.6	29.8	16.8	14.7

本校では、毎日の家庭学習を「学年×10分」は行うように指導しているが、30分以上学習している児童は、学年別に見ると、4年生で65.6%、5年生で72.6%、6年生で65%となった。学校全体の結果は、東京都の結果より4.3%低い結果となった。前年は、都の平均より1.1%高かったが、今年度はマイナスに転じた。より一層保護者との連携を密にし、「江戸川っ子 syudy week!」等の機会を活かして、児童が家庭学習の習慣を身に付けられるように働きかけていく必要がある。

【学習習慣について】

- ・自分で計画を立てて学習している児童 ⇒65.0% (都71.0%)、
- ・教科書を読むなどして授業でこれから学習することの見通しをもつようにしている児童
⇒60.5% (都60.6%)
- ・教科書やノートを読み返すなどして、授業で学習したことを振り返るようにしている児童
⇒64.2% (都62.6%)
- ・教科書やドリルの問題に取り組むなどして学習したことを確実にできるようにしている児童
⇒74.3% (都74.4%)
- ・授業で学習した内容について疑問に思ったことや興味をもったことを調べるようにしている児童
⇒67.9% (都66.9%)

※今年度もすべての項目で、昨年度と同様に都の平均に近い数値であり、2項目において都よりも上回る結果となった。特に、自主的に計画を立てたり、見通しをもったりしながら学習に取り組む態度を育てていきたい。